

所属	看護学部／臨床看護学系	職名	准教授	氏名	榎 直美
----	-------------	----	-----	----	------

1. 教員紹介・主な研究分野

北九州市立大学社会システム研究科地域社会システム専攻博士後期課程修了、博士（学術）。研究分野は「地域・在宅で生活する療養高齢者とその家族の支援」をテーマとし、特に近年は認知症を抱える家族介護者の“持てる介護力”に着目して、その潜在的介護力を引き出し向上させていくための多職種協働による効果的な介入方法について研究中です。介護保険制度が施行され家族の身体的介護負担は軽減された側面もありますが、孤立した家族介護者の寂しさや閉塞感は以前と変わっていないように感じます。本当に必要な看護支援を見出すためには、自ら介護家族者と触れ合いその苦悩を感じ取る感性が必要だと考えます。そのために介護する側とされる側の方々へ寄り添った医療・福祉連携の多職種研修会や介護関係の研修会講師など地域での実践活動を積極的に行い、その活動を通して、介護保険制度にはないインフォーマルな関係性を構築していきたいと思えます。そして目指すはエビデンスに基づいた家族介護者のエンパワメント向上への看護支援です。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

- ・博士論文；家族介護者の介護適応を促す協同的ケアモデルに関する研究—家族介護者の介護力向上のために必要な看護支援の検討—。北九州市立大学大学院社会システム研究科地域社会システム専攻博士後期課程，全 115 頁。2015。
- ・尾形由起子・岡田麻里・榎直美・野口忍・山下清香・松尾和枝・眞崎直子・三徳和子，終末期がん療養者の満足な在宅看取りを行った配偶者の介護体験。日本地域看護学会誌。Vol20,No.2.2017.P64-72，2017。
- ・丸山泰子・榎直美・横尾美智代。介護老人保健施設の看護職の役割・認識とやりがい感との関連。日本看護研究学会雑誌，Vol38，No5，P23-32，2016。
- ・尾形由起子，榎直美，小野順子，吉田恭子，杉本みぎわ，阿部久美子，岡田麻里，終末期がん療養者の配偶者による在宅看取り実現のためのセルフマネジメントに対する支援方法の検討—多職種フォーカス・グループインタビューの結果より—。福岡県立大学看護学研究紀要，第 14 巻，2017。P41-47。
- ・増満誠，藤野靖博，榎直美，村田節子，湊野由夏，松枝美智子，宮城由美子，鳥越郁代，吉田静，坂田志保路，山下清香，阿部真理子，吉田恭子，江上千代美，石村美由紀，吉川未桜，柴北早苗，原田直樹，杉本みぎわ。新旧カリキュラムにおける臨地自習での看護技術習得状況。福岡県立大学看護学研究紀要，第 14 巻，P65-73,2017。
- ・猪狩崇，石崎龍二，榎直美，柴田雅博，小野順子，檜橋明子，杉本みぎわ，尾形由紀子。地域包括ケアシステム構築に向けた地域医療情報連携ネットワークシステム導入に関する一考察。福岡県立大学看護学研究紀要，第 15 巻。

②その他最近の業績

〈学会発表〉

- ・榎直美、尾形由起子、小野順子、檜橋明子、杉本みぎわ、中村美穂子・猪毛尾和美、馬場順子、吉田恭子、訪問看護師の在宅医療推進のための多職種連携に関連する要因の検討(第二報)。第 76 回日本公衆衛生学会総会。鹿児島。2017。11 月。
- ・中村美穂子・尾形由起子・榎直美・小野順子・檜橋明子・吉田恭子・杉本みぎわ・猪毛尾和美・馬場順子。在宅療養継続のための連携に対する訪問看護師の意識調査(第一報)。第 76 回日本公衆衛生学会総会。鹿児島。2017。11 月。
- ・尾形由起子・榎直美・三徳和子・眞崎直子・岡田麻里・山下清香・馬場順子・猪毛尾和美。在宅看取りの意思決定支援に対する訪問看護師の意識調査—第 3 報—。第 76 回日本公衆衛生

学会総会. 鹿児島. 2017. 11月.

- ・榎直美・丸山泰子・江上文子・尾形由起子. 高齢者サロンでの認知症支援の取組の実態. 第22回日本看護研究学会九州・沖縄地方会. 佐賀. 2017年11月.
- ・丸山泰子・榎直美・江上史子. 家族介護者が介護困難に感じる要因と看護師への役割期待に関する研究—家族介護者への質問紙調査を通して—. 第22回日本看護研究学会九州・沖縄地方会. 佐賀. 2017年11月.
- ・村田節子・宮園真美・今丸満美・政時和美・吉田恭子・榎直美・杉本みぎわ・柴北早苗・吉村美奈子. 患者・家族がより良いがん医療を選択できるための課題と取り組み～地域で語り合うがんとの向き合い方(第3報)～. 第19回日本看護医療学会. 名古屋. 2017年9月.
- ・榎直美, 久保哲郎, 杉本みぎわ, 原田和昭, 小林繁, 長江紀子. 医療・介護・福祉の多職種から捉える「介護連携」の在り方と課題(その2)—北九州在宅医療・介護塾研修会でのグループワークより—. 第24回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会. 久留米, 2017. 2月.
- ・久保哲郎, 榎直美, 八田妙子, 讃井一美, 高田芳信, 田代久美枝. 医療・介護・福祉の多職種から捉える「介護連携」の在り方と課題(その1)—北九州在宅医療・介護塾の設立とその歩み—. 第24回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会. 久留米, 2017. 2月.
- ・杉本みぎわ, 久保哲郎, 榎直美, 林田優子, 和田和人, 山本節子. 医療・介護・福祉の多職種から捉える「介護連携」の在り方と課題(その3)—北九州在宅医療・介護塾研修会でのグループワークより—. 第24回日本ホスピス・在宅ケア研究会全国大会. 久留米, 2017. 2月.
- ・政時和美, 村田節子, 宮園真美, 今丸満美, 吉田恭子, 榎直美, 杉本みぎわ, 柴北早苗, 吉村美奈子. 訪問看護ステーションのがん支援に関する意識調査～「キャンサー・ナーシング・カフェ」の取り組み～. 第18回日本看護医療学会, 名古屋. 2016. 9月.
- ・村田節子, 宮園真美, 政時和美, 今丸満美, 吉田恭子, 榎直美, 杉本みぎわ, 柴北早苗, 吉村美奈子. がん療養生活の選択に影響を与えるもの～地域で語り合うがんとの向き合い方(第2報)～. 第18回日本看護医療学会, 名古屋, 2016. 9月.
- ・御手洗裕子, 田中洋子, 渡邊智子, 榎直美. 精神科病院の看護管理者による認知症高齢者の早期退院に向けた取り組みと今後の課題—認知症治療病棟における人材育成—. 第21回日本老年看護学学会, 2016年.
- ・野口忍, 尾形由起子, 榎直美, 岡田麻里. 地域包括ケアシステムの基盤となる人生最期の過ごし方を自ら選択できる住民への教育について. 第35回日本看護科学学会交流集会, 広島, 2015. 12月.
- ・榎直美, 尾形由起子, 横尾美智代, 田渕康子. 家族介護者の介護力獲得のための看護支援方法の検討“看護師に対するニーズと介護力の関連性から”. 第35回日本看護科学学会, 広島, 2015. 12月.
- ・岩崎玲奈 村田節子, 榎直美, 小出昭太郎. 治癒が困難になったがん患者の療養上の意思決定支援の現状と関連要因の検討. 第29回日本がん看護学会, 横浜, 2015年2月.
- ・岩崎玲奈 村田節子, 榎直美, 小出昭太郎. 治癒が困難になったがん患者の療養上の意思決定支援における家族支援の現状と関連要因の検討. 第29回日本がん看護学会, 横浜, 2015年2月.

<報告書>

- ・「平成28年度福岡県訪問看護ステーション連携強化事業」報告書, 2017年3月.
- ・「平成28年度付属研究所重点領域研究:在宅医療推進における医療福祉情報に関する研究」報告書, 2017年3月.
- ・文部科学省, 科学研究費補助金(基盤研究C), 「通所サービスにおける家族介護者の介護適応を促す協同的ケアモデルに関する研究」報告書, 2015, 3月. 研究代表者.

3. 外部研究資金

- ・文部科学省科学研究費補助金、基盤C(平成26～29年)「認知症高齢者を抱える家族介護者の介護力獲得支援プログラムの有効性に関する研究」研究代表者(2,549千円)

- ・ 文部科学省科学研究費補助金、基盤 C (平成 29～32 年)「簡易型認知行動療法プログラムの生活習慣改善への効果検証」研究分担者 (代表 ; 田中美加)
- ・ 文部科学省科学研究費補助金、基盤 C (平成 29～31 年)「地域に密着した住民の主体的介護促進のための教育支援モデル」研究分担者 (代表 ; 尾形由紀子)

5. 所属学会

日本看護協会、日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本在宅ケア学会、日本老年看護学会、日本公衆衛生学会、日本地域看護学会、日本看護医療学会、日本在宅ホスピスケア研究会

6. 担当授業科目

老年看護学・2 単位・2 年・後期,老年看護学演習Ⅰ・2 単位・3 年・前期,老年看護学演習Ⅱ, 1 単位・3～4 年・通年, 老年看護実習Ⅰ・1 単位・2 年・通年,老年看護実習Ⅱ・2 単位・3～4 年・通年, 専門看護学ゼミ・2 単位・3 年・通年, 統合実習・2 単位・4 年・前期,卒業研究・2 単位・4 年・後期,老年看護学特論・2 単位・修士 1 年,老年看護学演習・2 単位・修士 1 年, 高齢者医療保健福祉政策・ケアシステム論 2 単位・修士 1 年,

7. 社会貢献活動

- ・ NPO 法人「ヘルスアイランドライツサポートうりずん」第三者評価委員会理事長
- ・ 田川市地域包括ケアシステム推進協議会委員
- ・ NPO 法人「福祉・医療機関教育評価機構」理事・第三者評価委員
- ・ NPO 法人「生涯現役支援センター」高齢者健康相談員
- ・ 平成 28 年度「人に優しい町・田川をつくる会」理事
- ・ 北九州在宅医療・介護塾世話人として年間を通して多職種連携研修会やフォーラム等開催による実践活動。
- ・ 北九州在宅医療・介護塾「排泄ケアを考える 2017 フォーラム」2017. 3 月. コーディネーター.
- ・ 筑豊市民大学「ヘルシーエイジングゼミ」参画し年間を通し地域住民との協同実践活動。

8. 学外講義・講演

- ・ 国際学術シンポジウム「認知症の方とその家族への地域支援における看護と福祉の連携ー看護の立場からー」福岡県立大学, 2017 年 4 月.
- ・ 北九州市介護従事者研修会講師「高齢者の誤嚥予防～あきらめない食事へのアプローチ～」ウエル戸畑, 2017 年 9 月、10 月.
- ・ 職業訓練法人福岡地区職業訓練協会主催, 福祉用具専門相談員指定講習会講師「介護の知識、介護概論」職業訓練法人福岡地区職業訓練協会, 2017 年 9 月.
- ・ NPO 法人生涯現役支援センター講師「健やかに老いる」行橋,2017 年 8 月.
- ・ 日本看護研究学会九州・沖縄地方会学術集会座長
- ・ 筑豊市民大学「ヘルシーエイジングゼミ」講師「食と健康」. 2017 年 6 月
- ・ 田川市民生委員児童委員全体研究会講師「認知症の方やその介護をする家族を支えるための地域支援のあり方」。2018 年 3 月.

9. 附属研究所の活動等

- ・ ヘルスプロモーション実践研究センター兼任研究員.
- ・ 筑豊市民大学ヘルシーエイジングゼミアドバイザー.